

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 2 部門第 6 区分
 【発行日】平成 19 年 8 月 30 日 (2007.8.30)

【公開番号】特開 2005-41576 (P2005-41576A)
 【公開日】平成 17 年 2 月 17 日 (2005.2.17)
 【年通号数】公開・登録公報 2005-007
 【出願番号】特願 2004-200436 (P2004-200436)
 【国際特許分類】

B 6 5 B 59/04 (2006.01)

B 6 5 B 9/22 (2006.01)

【F I】

B 6 5 B 59/04

B 6 5 B 9/22

【手続補正書】

【提出日】平成 19 年 7 月 13 日 (2007.7.13)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

包装機械成形機 (14) と、前記成形機 (14) を包装機械 (15) に対して移動できるように前記成形機 (14) を支承する成形機用サポート (20) とを備える組合せであって、前記成形機は、

前記包装機械 (15) へ送出するためにチューブ状袋材料に成形される細長い袋材料が上を通過する成形機肩部材 (29) を備え、

前記サポート (20) は、

前記成形機 (14) へ装着される第 1 の部分 (28)、および

前記包装機械 (15) に装着するための、前記第 1 の部分 (28) へ装着される第 2 の部分 (23) を備えており、

前記第 1 の部分 (28) が、前記第 2 の部分 (23) に装着され、かつ前記第 2 の部分 (23) に対して移動自在であるので、前記成形機 (14) は、前記第 2 の部分 (23) に支承され、チューブ状袋材料を前記包装機械 (15) へ送出するように前記包装機械 (15) と整合する第 1 の位置と、前記成形機 (14) へのアクセスを容易にするように前記第 1 の位置から離間する第 2 の位置との間で移動自在であり、かつ前記成形機 (14) が前記位置の両方において前記第 2 の部分 (23) に支承されていることを特徴とする組合せ。

【請求項 2】

前記成形機 (14) は、前記第 1 の位置と前記第 2 の位置の間で移動するときに、ほぼ水平面で移動する請求項 1 に記載の組合せ。

【請求項 3】

前記第 1 の部分 (28) は、前記第 2 の部分 (23) に対して直線的に移動自在であるので、前記成形機 (14) が前記第 1 の位置と前記第 2 の位置との間で移動自在である請求項 1 に記載の組合せ。

【請求項 4】

前記第 1 の部分 (28) は、前記第 2 の部分 (23) により摺動自在に支承される請求項 3 に記載の組合せ。

【請求項 5】

前記組合せは、前記包装機械 (15) が中に位置決めされるキャビネット (11) を備え、また前記キャビネット (11) は、前記成形機 (14) へアクセスできるようにアクセス開口部 (13) を有し、前記第 1 の部分 (20) は、前記第 1 の部分から前記第 2 の部分へ移動する際に前記アクセス開口部 (13) へ向けて移動する請求項 1 ～ 3 のいずれか 1 項に記載の組合せ。

【請求項 6】

前記サポート (20) は、前記成形機 (14) へ気体を送出するために前記成形機 (14) まで延びるダクト系統 (30) を備える請求項 1 に記載の組合せ。

【請求項 7】

前記成形機 (14) は、前記成形機肩部材まで延びるシュート (27) を備え、そのシュートを通して製品が、チューブ状袋材料内に受容されるように移動して前記成形機により送られる請求項 6 に記載の組合せ。

【請求項 8】

前記成形機 (14) は、前記サポート (20) の前記ダクト系統 (30) と連通するダクト系統 (30) を備えるので、前記気体が前記シュート (27) へ送出される請求項 7 に記載の組合せ。

【請求項 9】

前記第 1 の部分 (44) は、前記第 2 の部分 (46) に対して斜めに移動自在である請求項 2 に記載の組合せ。

【請求項 10】

前記サポート (20) は、前記成形機 (14) へ装着される一対の離間するアーム (42) を備え、前記第 1 の部分は、前記アーム (42) を前記成形機 (14) へ装着する回動組立体 (44) を備え、また前記第 2 の部分 (23) は、前記アーム (42) へ装着され、かつ前記包装機械 (15) に対して固定されるようになっている回動組立体 (46) を備えて、前記第 1 の位置と前記第 2 の位置との間で前記成形機 (14) が斜めに移動できるようにする請求項 9 に記載の組合せ。

【請求項 11】

アクセス開口部 (13) を有するキャビネット (11) と、
前記キャビネット (11) 内の包装機械 (15) と、
成形機サポート (20) と、
前記成形機サポート (20) 上に支承される成形機肩部材 (29) と、を備える組合せであって、

前記成形機サポート (20) は、チューブ状袋材料を前記包装機械 (15) へ送出するように前記包装機械 (15) と整合する第 1 の位置と、前記アクセス開口部 (13) へ向けて前記第 1 の位置から離間する第 2 の位置との間での前記成形機肩部材 (29) の移動を実現することを特徴とする組合せ。

【請求項 12】

前記サポート (20) は、前記肩部材 (29) が上に取付けられる少なくとも 1 つの部材 (24) を有する第 1 の部分 (28)、および前記第 1 の部分 (28) を受容して、前記第 1 の位置と前記第 2 の位置との間で前記肩部材 (29) の移動を実現する第 2 の部分 (23) を備える請求項 11 に記載の組合せ。

【請求項 13】

前記第 1 の部分 (28) は、前記第 2 の部分 (23) に取付けられて、前記第 2 の部分に対して水平移動摺動して、前記肩部材を前記第 1 の位置と前記第 2 の位置との間で動かす請求項 12 に記載の組合せ。

【請求項 14】

前記部材は前記肩部材が装着される第 1 の部材 (24) であり、前記組合せは前記肩部材が装着される第 2 の部材 (24) をさらに備える、請求項 13 に記載の組合せ。

【請求項 15】

前記肩部材 (29) は、複数の前記部材 (24) へ着脱自在に装着される請求項 14 に記載の組合せ。

【請求項 16】

前記肩部材 (29) を前記第 1 の位置に離脱自在に固定する手段 (33) を備える請求項 15 に記載の組合せ。

【請求項 17】

前記サポート (20) は、前記肩部材 (29) へ気体を送出するダクト系統 (30) を備える請求項 16 に記載の組合せ。

【請求項 18】

包装される製品を前記肩部材 (29) へ送るように前記肩部材 (29) まで延びるシュート (27) をさらに備える請求項 17 に記載の組合せ。

【請求項 19】

前記サポート (20) の前記ダクト系統 (30) から、気体を前記シュート (27) まで送出的る前記シュート (27) まで延びるダクト系統 (30) をさらに備える請求項 18 に記載の組合せ。